



上、フルインストールの場合5.0GBが必要

次のことについてあらかじめ決めておきます。

サーバの名前	ドメイン名	IPアドレス
教育センターでは、サーバの名前		ps140
	ドメイン名	ps140.jp
	IPアドレス	192.168.1.140

として設定しました。

インストールにとりかかる前に、CD-ROMから起動できるようにパソコンのBIOSを設定しておきます。

## 1-2 Linuxのインストール

### (1) CD-ROMのセット

RedHat9インストールディスク1をCD-ROMにセットし起動します。

### (2) インストーラの起動

boot: と表示されたらEnterキーを押します。

CD Found が表示された場合、CD media のテストは「Skip」で問題ありません。

Welcome to Red Hat Linux と表示されたら、画面右下の「Next」ボタンをクリックします。

(3) 言語の選択 「Japanese(日本語)」を選択し、「Next」ボタンをクリック。

(4) キーボードの選択 「Japanese」を選択し、「Next」ボタンをクリック。

(5) マウスの設定 ホイールマウス(PS/2)を選択。

(6) アップグレードの検証 「新規のRed Hat Linux インストールを実行」を選びます。

(7) インストールの種類 「カスタム」を選びます。

(8) ディスクパーティション設定 本体すべてをLinuxで用いるので、  
「自動パーティション設定」を選び次へ。

(9) 自動パーティション設定 「システムのすべてのパーティションを削除」

/bootと / と swapのパーティションが設定されていることを確認してください。

/boot は起動時に必要な領域であり、ファイルタイプ ext3 、容量は100MB程度  
swap は、作業領域です。

/ はLinux本体が置かれる場所であり、残り全部の容量が割り当てられます。

### (10) ブートローダの設定

最初のパーティションにWindows が既にインストールされている場合は、WindowsのBoot Labelも設定します。次にブートローダのパスワードの設定画面も表示されますが、ここではとくに設定はしません。

### (11) ネットワークの設定 (重要)

ネットワークデバイスの横の「編集」ボタンを押し、「DHCPを使用して設定」のチェックをはずします。

さらに、ここでは、コンピュータの番号に応じたアドレスを割り当てます。

<例> IPアドレス	192.168.1.140
ネットマスク	255.255.255.0
各学校の実態に合わせて、変えてください。	

「OK」を押してeth0の編集を終えます。

ホスト名 (各学校でお決めください。)

ゲートウェイ (各学校のダイアルアップルータ等、インターネットへの出口)

1番目のDNS (DNSサーバのIPアドレス)

### (12) ファイアウォールの設定

ファイアウォールはデフォルトのままにしておきます。あとで変更する場合は、lokitコマンドで変更します。

(13) 追加言語のサポート 「Japanese」にチェックされていることを確認。

(14) タイムゾーンの選択 「アジア/東京」

(15) rootパスワードの設定

管理者であるrootのパスワードを設定します。(例: root01)

確認のために2回同じ文字列を入力します。

(16) 認証の設定 ここはデフォルトのまま次へ進みます。

(17) パッケージグループの選択

X Window System, GNOMEデスクトップ環境, エディタ、グラフィカルインターネット、Webサーバ、メールサーバ、Windowsファイルサーバ、DNSネームサーバ、FTPサーバ、ネットワークサーバを選択して下さい。インターネットへ接続するサーバの場合、セキュリティの確保のために必要なものだけインストールしますが、校内用であれば沢山選ぶことも可能です。また、後から追加・削除をすることもできます。

「次へ」をクリックすると、パッケージのインストールが始まります。途中でCD-ROMの変更を要求されます。終了までしばらく時間がかかります。

(18) Xの設定(ビデオ・カード)

殆どのビデオカードは認識されます。(学校の実態でお願い致します。)

(19) モニタの設定 (学校の実態でお願い致します。)

(20) Xのカスタム設定 色の深さ: True Color(24bit) 画面の解像度: 1024 x 768

ログインの種類: グラフィカル を選択

(21) インストールの完了 「終了」ボタン を押すとLinuxが起動します。

(22) 「ようこそ」 最初に起動したときの設定をします。

(23) ユーザーアカウント 一般ユーザを1人登録します。

ユーザー名 user01 パスワード user01 とすると良いです。

(25) 日付と時刻

あっているなら、「進む」ボタンを押します。ntpサーバで時刻の自動同期も可能です。

(26) Red Hatネットワーク 登録しなくて良いです。

(27) セットアップの終了

### 1-3 Webサーバの設定 (httpd.conf)

グラフィカルなログイン画面が出ますが、細かい設定ができないので、テキスト画面に変えます。

`Ctrl` + F2

で、テキスト画面に切り替わります。

User01でログインします。

ユーザー名 user01

パスワード user01 と入力します。

設定ファイルの変更はrootでなければできないので、スーパーユーザとしてログインします。

```
su ?!
```

```
cd /etc/httpd/conf
```

エディタでServerName をサーチしてサーバ名を登録します。検索は、そのままの状態(コマンドモード)で /文字列 と入力します。また、検索を続けるには、コマンドモードで n を入力します。

```
vi /etc/httpd/conf/httpd.conf
```

```
/ServerName (コマンドモードで)
```

次の行が見つかったら、#を消して設定を生かし、サーバ名を入力してください。ただし、入力モードにしないと、文字の入力できませんので、`i` のキーを打つことで入力モードにしてかプログラムの訂正を行ってください。

```
#ServerName new.host.name:80 ServerName www.ps140.jp:80
```

また、ユーザそれぞれがWebページを持つことができるようにするためには、次のように設定します。まず、`Esc`キーで、コマンドモードに戻ります。コマンドモードで /UserDir とし、



## 2 CGIプログラムの設定について

CGI プログラムは、フリーのプログラムをインターネット上からダウンロードできます。ダウンロードしたプログラムは、細かい設定が必要になりますが、教育センターで、設定済みのプログラムを CD-ROM に複製したものを配布できます。教育用であれば自由に設置しても良い許可は頂いてますが、著作権の表示は義務づけられています。設置した画面の最後に出てくるリンクは、必ずそのままの形で残しておいてください。

### 2-1 CGIの起動

まず、CGIが実行できるように、Apacheの設定ファイル `/etc/httpd/conf/httpd.conf` の記述を書き換えます。

`vi /etc/httpd/conf/httpd.conf` と入力し、ファイルを開いたら以下のように書き換えてください。

```
#AddHandler cgi-script .cgi の前の#を取り(コメントアウト) .pl を追加します。
AddHandler cgi-script .cgi .pl
```

さらに、次のような設定変更(上段 下段)を行います。

<pre>ScriptAlias /cgi-bin/ "/var/www/cgi-bin/" (途中省略) &lt;Directory "/var/www/cgi-bin"&gt;   AllowOverride None   Options None   Order allow,deny   Allow from all &lt;/Directory&gt;</pre>	CGI ファイルが置かれるディレクトリを記述する。ScriptAlias に置かれたファイルは、すべて実行ファイルとみなされます。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------

<pre>#_ScriptAlias /cgi-bin/ "/var/www/cgi-bin/" (途中省略) Alias /cgi-bin/ "/home/httpd/cgi-bin/" &lt;Directory "/home/httpd/cgi-bin"&gt;   AllowOverride None   Options ExecCGI   Order allow,deny   Allow from all &lt;/Directory&gt;</pre>	コメントアウト 一行追加 : cgi-bin が示すディレクトリ <Directory> ~ </Directory> の間に、そのディレクトリに対する設定を記述します。 ExecCGI で、CGIの実行を許可します。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

`service httpd restart` と再起動することにより、CGIファイルを実行できます。

### 2-2 「校内ネット」の設定

CD-ROM内のcgi-bin フォルダにある各プログラムを、Linux サーバにアップロードします。クライアントマシンにFTPソフト(インターネット上からフリーソフトFFFTPをダウンロードすると良いと思います。配布先アドレス <http://www.vector.co.jp/>)をインストールし、サーバ機に接続して、以下の場所に各CGIソフトをアップロードします。

<code>/home/httpd/cgi-bin</code>	├ public_html/	(「校内ネット」トップページ用)
	├ patio/	(しつもんけいじばん用)
	└ upppu/	(おしらせけいじばん用)

ankeito/	( アンケートボックス用 )
annecho/	( 6年1組クラス日記用 )
annecho2/	( 6年2組クラス日記用 )
annecho3/	( 6年3組クラス日記用 )
annecho4/	( 5年1組クラス日記用 )
annecho5/	( 5年2組クラス日記用 )
annecho6/	( 5年3組クラス日記用 )
annecho7/	( 4年1組クラス日記用 )
annecho8/	( 4年2組クラス日記用 )
annecho9/	( 4年3組クラス日記用 )
annecho10/	( 3年1組クラス日記用 )
annecho11/	( 3年2組クラス日記用 )
annecho12/	( 3年3組クラス日記用 )
annecho13/	( 1、2年生おためし日記用 )
quiz200/	( クイズキング用 )

### 2-3 パーMISSIONの変更

アップロードができたなら、それぞれのCGIプログラム内にある各ファイルのパーMISSIONを変更します。FFFTPで、アップロードした各ファイルを右クリックし、属性の変更で行うことができます。各CGIプログラムのパーMISSIONは、以下の通りです。

**【「校内ネット」トップページ】**  
 httpd[755]  
 |  
 cgi-bin [777]  
 |  
 +-- public\_html /[755]  
 | kounainetto.html [744]  
 | その他のファイル [644]  
 |  
 +-- ank [755] /  
 |  
 +-- \_HPB\_Recycled [755] /

その他のファイルは転送したままのパーMISSIONにしてください。

**【しつもんけいじばん】**  
 httpd[755]  
 |  
 cgi-bin [777]  
 |  
 +-- patio /[755]  
 | patio.cgi [755]  
 | regist.cgi [755]  
 | init.cgi [644]  
 | index1.log [666]  
 | index2.log [666]  
 | jcode.pl [644]  
 | note.html [644]  
 +-- log [777] /  
 +-- lock [777] /  
 +-- img / \*.gif [755]

**【お知らせけいじばん】**  
 httpd[755]  
 |  
 cgi-bin [777]  
 |  
 +-- upppu /[755]  
 | upppu.cgi [755]  
 | upppu.txt [666]  
 | upppu.cnt [666]  
 | jcode.pl [755]  
 | cgi-lib.pl [755]  
 |  
 +-- img / \*.gif[755]

その他のファイルは転送したままのパーMISSIONにしてください。

**【クラス日記】**  
 httpd[755]  
 |  
 cgi-bin [777]  
 |  
 +-- annecho/[755]  
 | annecho.cgi [755]  
 | jcode.pl [755]  
 | cgi-lib.pl [755]  
 | annecho.txt [666]  
 |  
 +-- img / [777]

その他のファイルは転送したままのパーMISSIONにしてください。

### 【アンケートボックス】

```
httpd[755]
|
+-- cgi-bin [777]
|
+--- ankeito / [755]
|   |   enq.cgi [755]
|   |   admin.pl [644]
|   |   enq_ini.cgi [644]
|   |
+--- lib / [755]
|   |   jcode.pl [644]
|   |   cm_com.pl [644]
|   |   cm_fmt.pl [644]
|   |   cm_data.pl [644]
|   |   cm_file.pl [644]
|   |   cm_send.pl [644]
|   |
+--- html / [755]
|   |   enq_fmt.html [644]
|   |   admi_fmt.html [644]
|   |   enq.css [644]
|   |   admi.js [644]
|   |
+--- lock / [777]
|   |   dummy.txt [デフォルト]
|   |
+--- dat / [777]
|   |   dummy.txt [デフォルト]
|   |
+--- log / [777]
|   |   dummy.txt [デフォルト]
|   |
+--- img / [777]
|   |   br_b.gif [644]
|   |   br_g.gif [644]
|   |   br_r.gif [644]
```

### 【クイズキング】

```
httpd[755]
|
+-- cgi-bin [777]
|
+--- quiz200 / [755]
|   |   tqindex.cgi [755]
|   |   tqquiz.cgi [755]
|   |   tqscore.cgi [755]
|   |   tqadmin.cgi [755]
|   |   tqlib.pl [644]
|   |   jcode.pl [644]
|   |   genre.txt [666]
|   |   message.txt [666]
|   |   tqlog.txt [666]
|   |   tqtop.html [666]
|   |   tqquiz.html [666]
|   |
+--- log / [777]
|   |   count.txt [666]
|   |
+--- lock / [777]
|   |
+--- data / [777]
|   |   quiz1 / [777]
|   |       |
|   |       |   rate.txt [666]
|   |       |   summary.txt [666]
|   |       |   highscore.txt [666]
```

その他のファイルは転送したままのパ  
ーミッションにしてください。

## 2-4 クライアントからの「校内ネット」の立ち上げ

クライアントから、ブラウザを立ち上げ、URLに以下のように入力します。

```
http://192.168.1.140/cgi-bin/public_html/kounainetto.html
```

「校内ネット」のトップ画面が立ち上がってきたら、システム設定成功です。「しつもんけいじばん」「お知らせけいじばん」「クラス日記」「アンケートボックス」「クイズキング」等にきちんとリンクしていて、書き込みなどが行えるか試してみてください。きちんと動いているようであれば、URLをデスクトップにドラッグアンドドロップすることで、アイコンとして登録できます。